

今回はそれぞれ紫竹アイアイハウスとアイアイホームに新しく入職した職員  
の声を届けたいと思います。紫竹アイアイハウスとアイアイホームを利用して  
いる西藤さんの支援を通じて日々感じていることを語り合います！

## アイアイホーム

### ●アイアイハウスに入ったきっかけ

**秋山** お二人とも、すっかりアイアイホームに馴染んでこられたと思いますが、お二人が入職されたきっかけは何ですか？

**尾野** 私は、前職は病院で医療助手として 15 年働いていました。その時に障害をもった方とも接することがあり、未経験ですが私もアイアイホームで働いてみようと思ったのがきっかけです。

**大塚** 私は、これまで特養で 20 年ほど経験してきましたが、知り合いの伝手でアイアイハウスを知ったのを機にここで働きたいと思い入職しました。



### ●仲間の支援を通じて感じたことは？

**秋山** 仲間との関わりの中で嬉しかったことや大切にしていることは何ですか？

**尾野** 言いたいことを伝えたいが上手く伝えられない思いをされている仲間に対し、何を言おうとされているのか一生懸命に考えるようになり、はじめはわからなかったのですが、理解できるようになったことがとても嬉しかったです。

**大塚** アイアイホームにきて半年たち、仲間の方の色々な表情や喜んでいるとき、だんだん心の豊かさを感じられるようになり嬉しく思っています。

**尾野** 入浴介助をはじめ、初めての経験ばかりで自信がなかったのですが、一生懸命対応し今では私もできるようになって来たことがうれしく思います。

**大塚** 私が経験から大切にしていることは、支援には日本国憲法の第 11 条の基本的な人権の尊重、第 13 条の個人の尊重、第 25 条の生存権の保障がその根底にあり、この考えに基づいての対人援助が「支援の専門性」だと考えています。単に障害や病気の知識があるだけではだめで、職員主体では仲間に我慢を強いる支援になる事もあります。支援者はどこまで行っても、仲間主体で仲間の立場に立って支援をする事を常に考えなくてはならないと思います。

### ●西藤さんの支援について

**秋山** 西藤さんご本人の思いがどこにあるのか、どうされたいのかを常に考えながら、思いを受け止めていく形の支援が大切だと思います。

**大塚** 西藤さんがリビングで他の仲間の様子も感じながら寛いでおられる様子など、ホームではゆったりとした時間や雰囲気があり、家庭的なこの感じは大事にしたいですね。

**秋山** そうですね。これからも日中の事業所やご家族との連携ももっともっと密にして、西藤さん、他の仲間がその人らしく過ごしていけるような支援を大切にしていきたいです。

～ 今後に向けて ～

西藤さんは、紫竹アイアイハウスでは最年長の現在 46 歳の仲間です。今後、加齢にともなう体調の変化なども大きくなるので、皆で慎重に考えていきたいです。少しでも心地よく過ごしてもらい、アイアイハウスでの活動とアイアイホームのくらしが充実させられるようみんなで力を合わせていきましょう。  
がんばるぞっ！オー！！